

## (園内研修用ワーク1)

# 保 育 事 例 演 習

～不適切な保育を防ぎ、こどもの最善の利益を考えるために～

### 【ワーク1の構成と活用法】

#### 1. 不適切な保育とは？…不適切な保育の種類

「不適切な保育とは」を再確認しましょう。

具体的な事例がどのような不適切な保育になり得るかを考える際、参照してください。

#### 2. 事例の活用のしかた

事例シートの書き方の例（赤字）として、記入しています。

#### 3. 事例1～10

ここでは、保育園で起こりうる様々な出来事のうち、10の事例を載せてあります。

こどもの年齢などの詳細は、できる限り省いてありますので、自己の振り返りや園内でグループワークを実施する際に、細かな場面設定をして、色々な状況について考えてみてください。

特に、この事例演習では、職員同士がコミュニケーションを取って、課題に取り組み、他の保育者の視点を知り、こどもの気持ちや保育者の行動の背景を考察します。

こどもの最善の利益を第一に、こどもが自分の力を十分に発揮できるためには、どうしたらよいかを考えることで、保育者が専門性を高めていくことを目的としています。

★各保育園で、今までにあった事例や、判断に困ったことのある事例などを追加して、園内研修などで取り組んでスキルアップにつなげてください。

# 1. 不適切な保育とは？…不適切な保育の類型

虐待や不適切な保育について理解し、自己の保育の振り返りや園内研修などに役立てましょう。

以下、こども家庭庁「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」を参照しております。

## (1) 虐待等について

保育園における虐待	具体例 ※一部抜粋
① 身体的虐待 こどもの身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。	蹴る、叩く、激しく揺さぶる、逆さ吊りにする、ご飯を押し込む、戸外に閉め出す、身体的に拘束する など
② 性的虐待 こどもにわいせつな行為をすること又は、こどもをしてわいせつな行為をさせること。	下着のまま放置、こどもの性器を触る・こどもに性器を触らせる、わいせつな言葉を発する・会話する など
③ ネグレクト こどもの心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置、他のこどもによる①②又は④までに掲げる行為の放置その他の保育園の職員としての業務を著しく怠ること。	必要な看護をしない、おむつや汚れた服を替えない、声かけ・抱き上げなどをしない、適切な食事を与えない、別室に閉じ込める、他の職員の不適切な指導を放置する など
④ 心理的虐待 こどもに対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応など、こどもに著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。	ことばや態度による脅かし、無視や拒絶的な態度、「バカ」など侮蔑的な言葉、失敗を執拗に責める、自尊心を傷つける言動、孤立的な扱い、感情的な大声の指示、叱責 など

※ この他、こどもの心身に有害な影響を与える行為を含め、虐待等と定義します。

※ なお、これらはいくまで例であり、また、明らかに虐待等と判断できるものばかりでなく、個別の行為等について考えたとき、虐待等であるかどうかの判断をしづらい場合もあります。そうした場合には、保育園に通うこどもの状況、保育園の職員の状況等から総合的に判断すべきですが、その際にも、当該こどもの立場に立って判断すべきことに特に留意する必要があります。

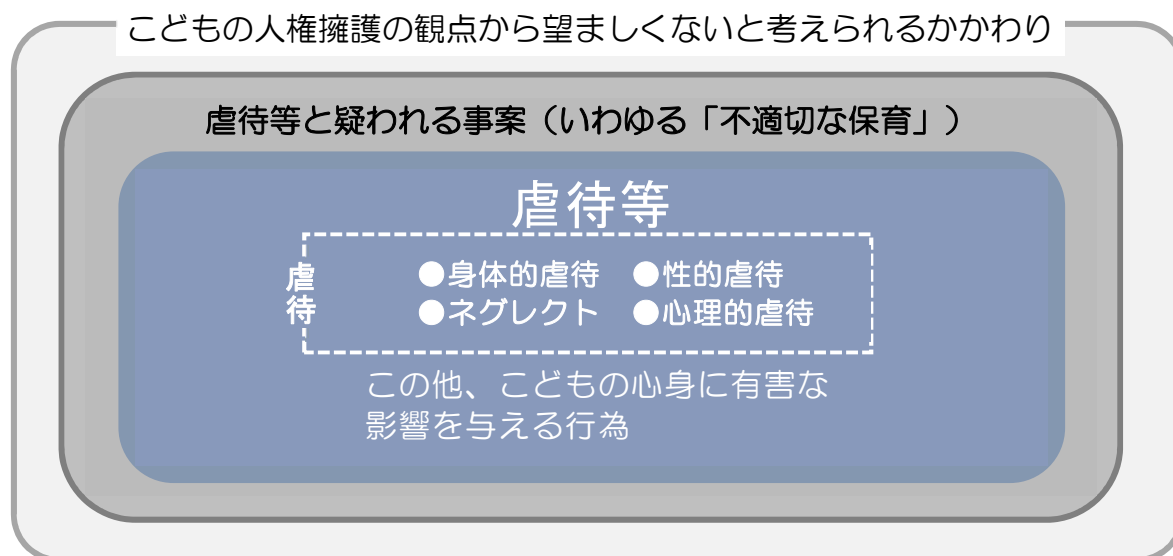
## (2) 不適切な保育について

「不適切な保育の未然防止及び発生時の対応についての手引き」（株式会社キャンサーズキャン）では、不適切な保育とは「保育所保育指針に示すこどもの人権・人格の尊重の観点に照らし、改善を要すると判断される行為」としています。また、全国保育士会の「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～「こどもを尊重する保育」のために～」(以下「保育士会チェックリスト」)では、人権擁護の観点から「良くない」と考えられる5つのカテゴリーを基に、不適切な保育の具体的な行為類型として次の5つを示しています。

不適切な保育	
①	こども一人一人の人格を尊重しない関わり
②	物事を強要するような関わり・脅迫的な言葉がけ
③	罰を与える・乱暴な関わり
④	こども一人一人の育ちや家庭環境への配慮に欠ける関わり
⑤	差別的な関わり

また、具体的な関わりの中には、不適切な保育とまではいえないものも含まれ、下図のように、不適切な保育の位置づけは、「虐待等が疑われる事案」と捉えなおすこととします。

(「虐待等」と「虐待等と疑われる事案(不適切な保育)」の概念図)



### (3) なぜ不適切な保育が起きるのか？

こどもの人権擁護の観点から「望ましい」と考えられる関わりができていないかどうかといった、よりよい保育に向けた日々の保育実践の振り返り等の取組みが大切です。

ここでは、「なぜ不適切な保育がおきるのか？」について、いくつか例を挙げています。園内全体で共通の認識を持ち、お互いに継続して確認してください。また、各園の状況に応じた例なども挙げて考える機会を作りましょう。

#### ！ 人権意識の不足かも…

こどもの権利などに対して時代に即した学びができていますか？

#### ！ こどもの気持ちに気付いていないのかも…

保育者にとっては指導でも、こどもにとっては恐怖や苦痛に感じていたり、こどもへの親しみを表しているつもりの方が、こどもの人権を傷つけているなど、こどもの気持ちに気付いていないことはありませんか？

#### ！ コミュニケーションが不足しているのかも…

他の保育者の行為が少し気になりつつも指摘せずに済ませてしまったりしていませんか？孤立した保育になっていなければ、本人が気付かなくても未然に防ぐことや、初期段階で周りの保育者から改善を促すことができたのではないですか？

#### ！ 共通認識・共通理解ができていないのかも…

こどもについての話し合いや振り返りを行う習慣や園内研修などが十分にできていますか？

#### ！ 慣れや気の緩みがあるのかも…

目の前にいるのは小さなこどもたち、周りにいる大人はみんな知っている職員というのが保育園の日常であり、保育の流れもある程度決まっている中で、慣れ合いや気の緩みが起きていませんか？

#### ！ 経験に頼りすぎたのかも…

保育者にとって経験を積むことは代えがたい財産ですが、経験に頼りすぎ、上司や同僚の意見に耳を傾けず、新たな知識の学習などを怠っていませんか？

## 2. 事例の活用のしかた…※赤字は参考の話し合い例です。

しっぽりの最後のゲームですぐにとられて不機嫌なA児。保育室に戻って給食になっても、まだ気持ちが晴れません。今日はA児があまり好きではない混ぜご飯、食事もなかなか進みません。

他のこどもたちは、「ごちそうさま」して次々に遊びに行きました。A児はとうとう床に寝転び、手足をバタバタさせています。

保育者は、「ちゃんと座って食べて、全部食べないと遊びにいけないよ」と言うと、A児は大声で泣き始めました。

場面設定	何歳児？ 4歳児 しっぽりゲームの終わらせ方は？ 「これで最後だよ」と知らせておいた。 普段の給食指導は？ 食べ終わったら遊んでいい
事例に対する感想	ご飯を残しても、外に出してあげればいいのに、どうして全部食べるように言ったのだろう。 A児の苦手なものを知っていたのかな？ A児の気持ちに向き合って、声かけできているかな？
保育者の気持ち	好き嫌いなく、食べてほしい。 座って、きちんと食べる習慣をつけたい。 他のこどもたちのことも見ないといけない。 早く片づけたい。
こどもの気持ち	もっとゲームしたかったのに。 混ぜご飯なんか食べたくない。 どうして全部食べなきゃいけないの？ みんな遊びに行っちゃったよ。
不適切になる？	「〇〇しないと△△できない」…脅迫的な言葉かけ・罰を与える 食事を無理に食べさせる…物事を強要する関わり A児の気持ちを大切にしない…人格を尊重しない
どうすればよかったと思いますか？	こども一人ひとりの性格や、今の気持ちを大切にす言葉かけや寄り添い方をする。 普段の給食指導を見直して、個々にあった声かけや苦手なものの量を減らすなどの対応をする。

状況にもよるので、  
今回の演習で最善と  
思うことを記入

## 事例 1

発表会の合同練習で、ホールへ移動する時間になりました。数名のこどもたちは、まだ、遊びに夢中で、なかなか担任の指示を聞いてくれません。ホールでは、他のクラスの準備ができています。

やっとクラス全員が移動しましたが、なかなか並んでくれません。「早く並ぼうね」との声も、だんだん大きくなってきました。

そこに「〇〇組さん、もうすぐ出番ですよ」と声がかかりました。

担任は、「Bはこっち」と腕を持って引き寄せ、「Cはあっち」と体を押しつけて移動させ、「早く並んで」と大きな声で指示をしています。

場面設定	何歳児？ 移動前の保育内容は？  並ぶ順番は？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	

## 事例2

クラス全員で狼ごっこをしています。狼役は担任、逃げる役はこどもたち。担任もはじめのうちは大きな動きではなく、「捕まえちゃうぞ」と優しい狼で、こどもたちもキャーキャー楽しんで逃げ回っていました。

担任は、こどもたちの楽しむ様子を見て、だんだんと怖い狼になり、「ガオー」と、動きも大きくなりました。D児は捕まっても楽しんで笑っていたが、E児は大きい動きが怖くなり、捕まらないように必死に逃げ回っていました。

担任が、さらにこどもたちを追いかけると、E児はその姿を見て、突然走るのをやめ、「こわーい」と言って泣き出した。

場面設定	何歳児？ 「はじめのうち」みんな楽しんでいた？  E児は、普段どんなタイプのこども？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	

### 事例3

室内で自由遊びをしています。担任が、「朝の会を始めるから、片付けるよ」と全体に声をかけました。登園時間が遅かったF児は少しの時間しか遊ぶことができなかったので、「やだー、もっと遊ぶ」と言って片付けません。「朝の会始めるよ」と何度も担任は声をかけますが、遊び続けています。「じゃ、もう、始めちゃうね」との担任の声にF児は「やだ」と言って泣き出してしまいました。なかなか泣き止まず、朝の会が始められません。F児の気持ちもおさまらないので、担任は、少しクールダウンさせようと、「落ち着いたら来てね」と言って、F児を廊下に出し、保育室の扉を閉めました。

場面設定	何歳児？ 朝の会の内容は？  F児はいつもと登園時間が違った？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	



## 事例4

G児は給食の時間にごはんばかり食べておかずを食べません。保育者は「おかずも食べないと、ごはん食べられないよ」と声をかけて、おかずを口の中に入れました。G児は「これ、きれい」と言って口の中でもてあまし、飲み込むことができません。「口に入れたものは、飲み込んで」と保育者に言われましたが、G児は結局おかずを吐き出して泣いてしまいました。

場面設定	何歳児？ どんなおかずだったのでしょうか？ 家庭での食事は？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	

## 事例5

運動会で、クラス全員で踊りを披露することになりました。H児はリズムに合わせることがあまり好きではなく、みんなと一緒にやろうとしません。担任は家庭からのノートで、H児が家で「園で今度、踊るの」と言って両親の前で踊りを披露したことを知りました。本番が近くなりましたが、H児は恥ずかしそうにして、端の方で小さく手足を動かしています。担任は「Hちゃん、踊れるの知ってるよ」と言って手を取り列の真ん中に並ばせましたが、H児は緊張して動かなくなってしまいました。

場面設定	何歳児？ H児は踊りたい？ 担任は踊らせたい？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	

## 事例6

外遊びに夢中な園児たち、保育者は一人ひとりに「おしっこ大丈夫？」と声をかけていました。何人かはトイレに行きましたが、1児は保育者の声かけに「大丈夫！」と返事をして、トイレに行きませんでした。1児は入室前におしっこに行きたくなりモジモジしはじめ、保育者に声をかけましたが間に合わずにお漏らしをしてしまいました。保育者は「さっき聞いたよね。だから行けばよかったのに」と言いました。

場面設定	何歳児？ 外遊び前はどのようにしていたか？  最後の言葉の口調は？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったと思いますか？	

## 事例7

今日は異年齢で一緒に遊んでいました。J児は小さなクラスのK児たち5人と一緒に遊んであげて、小さなクラスのこどもたちはJ児の真似をして、とても楽しそうです。保育者は、J児が保育者たちの言葉を真似て、小さなクラスのこどもたちに教えてあげる姿を、微笑ましく見守っていました。しばらくすると、J児がK児を押して泣かせてしまいました。保育者は「小さな子を押したらダメだよ」と注意をしましたが、J児も泣き出してしまいました。

場面設定	J児とK児は何歳児？ 異年齢での遊びはどんな時？ J児がK児を押した原因は？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	

## 事例8

外遊びや散歩の後、入室する時は、靴を自分のくつ箱にしまうのが約束事になっていますが、L児は靴を出したまま保育室に入ってしまった。M児が「Lちゃん靴出てるよ」と声をかけましたが、L児は気付きません。保育者が靴が出ていることに気が付き、「これ誰の？」と聞くと、M児が「Lちゃんのだよ」と言ったので、ようやくL児は気がつきました。保育者は「Lちゃんはいつも靴が出っぱなしで、何度言ってもわからないね」とみんなの前で注意をしました。

場面設定	何歳児？ 約束事はどうやって周知？ L児はなぜ、M児の声かけに気付かなかった？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	

## 事例9

今日は散歩に行く予定です。保育者が「散歩に行くからトイレに行ってきてね」と声をかけます。みんなはトイレに行きましたが、N児は友だちのO児と手をつなぎたくて「出ない、行かない」と、トイレに行かずに靴を履いてO児を待っています。保育者は「Nちゃん、トイレに行ってって言ったよね。トイレに行かないと散歩に連れて行かないよ」とN児に声をかけました。

場面設定	何歳児？ N児はどのくらい前にトイレに行った？  散歩先には、トイレはある？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	

## 事例 10

午睡の時間になりました。P児は興奮していてなかなか寝付けず、隣のQ児に話しかけ、もぞもぞと動き続けていました。保育者Rが「寝る時間だよ」と2人を促すと、Q児は寝てしまいました。P児は眠れずに起き上がりたりもぞもぞと動いています。その様子を見て、保育者Rは「寝れないなら布団は違うところに敷くね」と言って廊下に布団を出すと、P児は「いやだ」と言って泣いてしまいました。近くにいた保育者Sは、その様子を見ていました。

場面設定	何歳児？ 寝付けない子への日頃の対応は？ 保育者Sは見た後、どうした？
事例に対する感想	
保育者の気持ち	
こどもの気持ち	
不適切になる？	
どうすればよかったですか？	